

宮崎県議会 令和5年11月定例会 一般質問時間割

※ 網掛は教育委員会への質問なし

■ 11月29日(水) 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	自由民主党	坂口博美	10:00~11:00	
2	自由民主党	丸山裕次郎	11:00~12:00	休憩
3	親和会	脇谷のりこ	13:00~14:00	
4	自由民主党	西村賢	14:00~15:00	

■ 12月1日(金) 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
9	自由民主党	山口俊樹	10:00~11:00	
10	県民連合立憲	山内佳菜子	11:00~12:00	休憩
11	日本共産党	前屋敷恵美	13:00~14:00	
12	県民連合立憲	松本哲也	14:00~15:00	

■ 11月30日(木) 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
5	自由民主党	安田厚生	10:00~11:00	
6	自由民主党	川添博	11:00~12:00	休憩
7	自由民主党	山内いっとく	13:00~14:00	
8	自由民主党	福田新一	14:00~15:00	

■ 12月4日(月) 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
13	緑風会	黒岩保雄	10:00~11:00	
14	自由民主党	下沖篤史	11:00~12:00	休憩
15	公明党	今村光雄	13:00~14:00	

■ 12月5日(火) 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
16	公明党	重松幸次郎	10:00~11:00	
17	自由民主党	佐藤雅洋	11:00~12:00	休憩
18	自由民主党	二見康之	13:00~14:00	

【主な質問について】

○ 不登校 ※No.32~49

- 丸山裕次郎議員「不登校児童生徒の増加について本県の特徴と要因及び今後の対策について伺いたい。」
- 山内いっとく議員「義務教育段階におけるフリースクールの出席扱いについて伺いたい。」 など

○ 神楽 ※No.2~5

- 脇谷のりこ議員「全国神楽継承・振興協議会の事務局を本県が担うことになった経緯とユネスコ無形文化遺産登録のメリットについて伺いたい。」
- 佐藤雅洋議員「神楽等の民俗芸能について、コロナ禍における中止や規模縮小等の状況を県としてどう捉え、今後どのように支援していくのか伺いたい。」 など

○ 読書・図書 ※No.22~24

- 西村賢議員「本県の読書活動推進の取組と、子どもの読書習慣を身に付けさせるための取組状況について伺いたい。」
- 山内佳菜子議員「県立図書館の収蔵スペース確保について、現在の検討状況と今後の方向性を伺いたい。」 など

など

宮崎県議会 令和5年度定例会における本会議答弁件数

	6月		9月		11月		2月		計	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
教育政策課	3	1	6	7	2	0	2		13	
財務福利課	2	3	2	4	4	2	3		11	
高校教育課	9	4	6	6	8	6	7		30	
義務教育課	5	6	11	4	5	9	2		23	
特別支援教育課	2	3	2	6	6	1	0		10	
教職員課	4	4	7	6	3	1	5		19	
生涯学習課	2	4	1	6	0	4	0		3	
スポーツ振興課	6	7	10	4	8	5	11		35	
競技力向上推進室	4		2		0		5		11	
文化財課	2	0	2	3	1	9	1		6	
人権同和教育課	8	9	8	7	16	15	9		41	
計	42	39	52	53	49	52	45		188	
	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)

※ 計に（実答弁数）と記載してある議会は、1つの答弁を複数の課で担当したものがあつたため、各課室の合計と計（実答弁数）が一致しない。

■ 令和5年11月定例会 質問の概要(キーワード順) ■

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
1	I C T活用	脇谷 のりこ	親和会	県立高校における情報系学科の設置の現状と、デジタル人材育成に向けての取組について伺いたい。	高校教育課
2	神楽	脇谷 のりこ	親和会	全国神楽継承・振興協議会の事務局を本県が担うことになった経緯とユネスコ無形文化遺産登録のメリットについて伺いたい。	文化財課
3	神楽	脇谷 のりこ	親和会	神楽のユネスコ登録について、9月に行った文化庁要望の状況と登録にかかる知事の思いを伺いたい。	文化財課
4	神楽	山内 佳菜子	県民連合立憲	国指定神楽のユネスコ無形文化遺産登録を見据え、県内で継承されている全ての神楽に対する、今後の取組と知事の思いを伺いたい。	文化財課
5	神楽	佐藤 雅洋	自由民主党	神楽等の民俗芸能について、コロナ禍における中止や規模縮小等の状況を県としてどう捉え、今後どのように支援していくのか伺いたい。	文化財課
6	学校給食・食育	松本 哲也	県民連合立憲	物価高騰の中、学校給食費における保護者負担の状況について伺いたい。	スポーツ振興課
7	学校施設・整備	山口 俊樹	自由民主党	県内の公立学校の体育館におけるエアコンの設置率について、全国と比較して、どのような状況か伺いたい。	財務福利課
8	学校施設・整備	山口 俊樹	自由民主党	学校施設環境改善交付金の補助率が引き上げられたが、県としても、例えばエアコンや断熱材部分への補助など、市町村の実施する工事に対して支援できないのか伺いたい。	財務福利課
9	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	福田 新一	自由民主党	学校で行われているキャリア教育の取組について伺いたい。	義務教育課
10	教育理念・抱負	福田 新一	自由民主党	これからの子供たちには、どのような資質・能力が求められているか伺いたい。	義務教育課
11	教育理念・抱負	福田 新一	自由民主党	その資質・能力を身に付けさせるために、県教育委員会では、どのような取組を行っているか伺いたい。	義務教育課
12	教員採用	二見 康之	自由民主党	教員採用試験における、大学新規卒者の受験者数と質を確保するためにどのような取組をしているのか伺いたい。	教職員課
13	高等特別 支援学校	西村 賢	自由民主党	高等特別支援学校設置の意義と目標、また、設置にあたっての県内企業等との連携について伺いたい。	特別支援教育課
14	国際教育	山口 俊樹	自由民主党	海外の大学に進学を希望する生徒に対して、学校ではこれまでどのように指導してきたのか、また、今後、県としてどのように対応していくのか伺いたい。	高校教育課
15	疾病対策	黒岩 保雄	緑風会	学校における子宮頸がんワクチン接種の周知・理解促進の取組について伺いたい。	スポーツ振興課
16	社会教育	松本 哲也	県民連合立憲	令和4年度に出された県社会教育委員会議の提言を受け、今後の取組について伺いたい。	生涯学習課
17	人権教育 ／L G B T	山内いっとく	自由民主党	性的マイノリティの児童生徒が学校で安心して相談できるための取組について伺いたい。	人権同和教育課
18	スポーツ振興	二見 康之	自由民主党	本県スポーツの全体的な底上げについての取組と今後のスポーツ環境の維持向上をどう考えているのか、この知事の思いをどう受け止め、その実現に取り組んでいるのか伺いたい。	スポーツ振興課
19	全国枠・ 国内留学	佐藤 雅洋	自由民主党	高千穂高校の魅力づくりの一環として、全国からの募集を行うことが有効であると考えているが、その効果と今後の取組について伺いたい。	高校教育課
20	定時制・通信制 ／夜間中学	山内いっとく	自由民主党	「ふるさと育成協議会」のような定時制・通信制高校の進学支援の取組を広めていくべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	高校教育課
21	定時制・通信制 ／夜間中学	重松 幸次郎	公明党	宮崎市の夜間中学の開校に向けて、現在の募集状況と県としてどのような支援に取り組むのか伺いたい。	義務教育課
22	読書・図書	西村 賢	自由民主党	本県の読書活動推進の取組と、子どもの読書習慣を身に付けさせるための取組状況について伺いたい。	生涯学習課
23	読書・図書	西村 賢	自由民主党	市町村ごとの公立図書館の貸出の傾向はどうなっているか、また、全国最下位レベルから脱するための公立図書館の利用促進に向けた取組について伺いたい。	生涯学習課
24	読書・図書	山内 佳菜子	県民連合立憲	県立図書館の収蔵スペース確保について、現在の検討状況と今後の方向性を伺いたい。	生涯学習課
25	入試	山口 俊樹	自由民主党	令和6年度県立高校入試における、生理などの体調不良者に対する追検査等の対応について伺いたい。	高校教育課
26	入試	山口 俊樹	自由民主党	全国の公立高校入試における追検査の実施状況を伺いたい。また、本県でも追検査を実施できないのか伺いたい。	高校教育課

NO	キーワード	質問者	党派	問 い の 概 要	担当課室
27	博物館	脇谷 のりこ	親和会	県総合博物館の施設の現状とリニューアルの予定について伺いたい。	文化財課
28	博物館	脇谷 のりこ	親和会	県総合博物館のリニューアルに係るクラウドファンディングの導入の可能性について伺いたい。	文化財課
29	病弱児支援	山内 佳菜子	県民連合立憲	I型糖尿病にかかる教職員向けの研修充実の要請について、どのように考えているか伺いたい。	スポーツ振興課
30	病弱児支援	山内 佳菜子	県民連合立憲	公立小・中学校における全ての医療的な支援が必要な児童生徒が、安心して学校生活が送れるよう、県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。	義務教育課
31	部活動	川添 博	自由民主党	公立中学校における部活動の地域移行に向けた取組状況と課題について伺いたい。	スポーツ振興課
32	不登校	丸山 裕次郎	自由民主党	不登校児童生徒の増加について本県の特徴と要因及び今後の対策について伺いたい。	人権同和教育課
33	不登校	西村 賢	自由民主党	不登校児童生徒への支援に対する県教育委員会の考え方を伺いたい。	人権同和教育課
34	不登校	西村 賢	自由民主党	スクールソーシャルワーカーの配置の考え方について伺いたい。	人権同和教育課
35	不登校	山内いっとく	自由民主党	義務教育段階におけるフリースクールの出席扱いについて伺いたい。	義務教育課
36	不登校	山内いっとく	自由民主党	小規模特認校のために、スクールバスを活用している自治体もあるが、県が支援することはできないか伺いたい。	義務教育課
37	不登校	山内いっとく	自由民主党	県として学びの多様化学校の設置を行う考えはないか伺いたい。	人権同和教育課
38	不登校	福田 新一	自由民主党	不登校の定義について伺いたい。	人権同和教育課
39	不登校	福田 新一	自由民主党	公立小中学校の不登校の現状について伺いたい。	人権同和教育課
40	不登校	山内 佳菜子	県民連合立憲	フリースクール等との連携に関する今後の県の取組について伺いたい。	人権同和教育課
41	不登校	山内 佳菜子	県民連合立憲	フリースクールの出席扱いについて、市町村で対応に大きな差が生じないように県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。	義務教育課
42	不登校	山内 佳菜子	県民連合立憲	フリースクール等への補助を県教育委員会として行う考えはないか伺いたい。	人権同和教育課
43	不登校	前屋敷 恵美	日本共産党	本県の小・中・高等学校における不登校児童生徒の現状について伺いたい。	人権同和教育課
44	不登校	前屋敷 恵美	日本共産党	現在、県内には何箇所のフリースクールがあるのか伺いたい。	人権同和教育課
45	不登校	前屋敷 恵美	日本共産党	フリースクールとの連携の状況、及び補助についての県教育委員会の考えを伺いたい。	人権同和教育課
46	不登校	松本 哲也	県民連合立憲	延岡市のオンライン学習支援の取組について、教育長の所感を伺いたい。	人権同和教育課
47	不登校	松本 哲也	県民連合立憲	公立小・中学校における不登校児童生徒の学びの場の確保に対する市町村の取組と県の支援について伺いたい。	人権同和教育課
48	不登校	今村 光雄	公明党	中学校における不登校生徒のオンライン学習において、出席扱いとなるための要件について、また、出席扱いとならなかった場合、高校入試の際に不利益とならないのか伺いたい。	義務教育課
49	不登校	佐藤 雅洋	自由民主党	自分のクラスに入りづらい児童生徒の学校内の居場所を確保することは、不登校対策において必要と考えるが、県内の小中学校の空き教室の利用状況と学校での取組について伺いたい。	人権同和教育課
50	文化財	安田 厚生	自由民主党	国指定重要文化財である「那須家住宅」をどのように保存・継承していくのか、伺いたい。	文化財課
51	文化財	安田 厚生	自由民主党	国指定重要文化財である「那須家住宅」の文化財的価値をどう考えているか、伺いたい。	文化財課
52	文化財	佐藤 雅洋	自由民主党	本県ゆかりの国宝や重要文化財について、どのようなものがあり、その重要性をどう捉え、また、県民にどのように周知していくのか伺いたい。	文化財課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課	
1	ICT活用	県立高校における情報系学科の設置の現状と、デジタル人材育成に向けての取組について伺いたい。	脇谷 のりこ	親和会	R5	11	<p>本県の県立高校における普通科と職業学科の在学生の比率は5：5であり、中でも、情報系の学科につきましては、工業科で4校5学科、商業科で8校8学科に設置し、情報活用技術やプログラミング技術等の習得に取り組んでおります。</p> <p>また普通科においては、教科「情報」の担当教員を配置し、デジタルに関する知識や技術を学び、探究活動等に取り組んでおります。</p> <p>さらに、今年度からすべての県立高校を対象として、DXを用いた改革を行っている地元企業による学習会や、職業学科に設置しているDX装置を活用したプロジェクト型学習を行っているところであります。</p> <p>今後も、次世代を担うデジタル人材の育成を推進してまいります。</p>	高校教育課	
2	神楽	全国神楽継承・振興協議会の事務局を本県が担うことになった経緯とユネスコ無形文化遺産登録のメリットについて伺いたい。	脇谷 のりこ	親和会	R5	11	<p>県では、記紀編さん1300年記念事業を契機としまして、改めて神楽が本県の貴重な財産であり、地域住民の心の支えであることを認識し、将来にわたる保存・継承の機運を高めるため、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指してまいりました。</p> <p>そのためには、全国の国指定神楽の一つにまとめる必要があることから、本県が事務局となって、まずは九州に、次いで全国に参加を呼びかけて、「全国神楽継承・振興協議会」を設立した次第でございます。</p> <p>ユネスコに登録となれば、神楽が世界的な評価を得ることとなり、県としましては、これを機に神楽継承への意欲を高め、舞手はもとより、神楽を支える人々の増加にもつなげ、ひいては地域の活性化にも資する取組になると考えております。</p> <p>9月には、全国神楽継承・振興協議会の会長であります高千穂神社の後藤宮司とともに、京都の文化庁にうかがい、神楽のユネスコ早期登録について要望を行ってまいりました。要望では、日本の宝である神楽を未来へ残していかなければならないという強い思いを文化庁に届けることができ、また、文化庁からの評価というものも手ごたえを感じたところであります。私自身もユネスコ登録実現に向けて、決意を新たにす機会となりました。</p> <p>これまで本県では、県内外での神楽の魅力発信など機運の醸成に努めてまいりました。</p> <p>今年は国立能楽堂で、椎葉村の榎尾神楽を披露いただいたところでありまして、先日、椎葉で、まさにその榎尾神楽を私も鑑賞してまいりましたが、県職員もそこに参加する、また村外の方も舞手として、そして今年は久しぶりに女性の舞手も登場したということで、この、地域にとって大切な文化的資産を多くの方々が愛し、そして守っていこう、そういう強い思いというものを肌身で感じたところであります。</p> <p>また、全国組織の未加入団体への加入促進など、ユネスコ登録に向けて取り組み、その結果、保存団体内諾も含めて、国指定の40の神楽のうち、9割にあたる36神楽が全国組織に加入する、そのような状況になっております。</p> <p>いよいよ今年度末には、次のユネスコ登録に向けた国の提案候補が決まる見込みとなっております。神楽に関わるすべての人々の思いや願いを重ね、県民を含め、様々な立場の皆様から応援をいただきながら、ユネスコ登録実現のために、より一層邁進してまいります。</p>	文化財課	
3	神楽	神楽のユネスコ登録について、9月に行った文化庁要望の状況と登録にかける知事の思いを伺いたい。【知事】	脇谷 のりこ	親和会	R5	11	<p>県内には、現在、国指定を含めて203の神楽があり、その多くは、後継者不足などの悩みを抱えながら活動を続けておられます。私も現地の神楽を訪れ、ふるまいをいただきながら夜通し鑑賞したこともあります。先日は、椎葉の榎尾神楽に行ったところですが、あの雰囲気が本当に大好きです。あそこで舞われている舞だけではなく、焼酎やふるまいを楽しみながら、そして会話を楽しみながら、先日の榎尾神楽ではその舞と舞の間に、そばに座って見てた高齢の女性がせり歌を歌い始められて、「切れた、切れた、太鼓の音が切れた」と次の演目を楽しみにしているよというかけ声だと思います。疲れたときには、頑張れ頑張れというような歌だとか、夜が更けた頃には男女の色恋のものがあったりですね、本当にトータルでその神楽というものを楽しみにしておられる、地域にとって大切な神事であり、お祭りであり、行事であり、地域や世代を超えた本当に大切な交流の場であり、この宮崎の宝というものを決して絶やしてはならない、確実に未来へとつないでいかなくてはならない、そのような思いを強くしているところであります。</p> <p>現在、本県が中心となりまして、国指定神楽のユネスコ登録に向けて取り組んでおります。登録の先に目指すのは、そのことにより刺激を受けて、また励みとして、県内全ての神楽を次世代へ確実につないでいくことであります。そのためには、神楽保存団体や自治体が情報共有を図り、互いに連携していくことが必要であると考えておりまして、現在、県内神楽保存団体の組織化に向けた取組を進めているところであります。</p> <p>県としましては、この組織が、ユネスコ登録を機に将来にわたって、県内全ての神楽保存団体に有益なものとなって、神楽を核とした地域の活性化につながる活動ができるよう、登録後も引き続き支援に取り組んでまいります。</p>	文化財課	★
4	神楽	国指定神楽のユネスコ無形文化遺産登録を見据え、県内で継承されている全ての神楽に対する、今後の取組と知事の思いを伺いたい。【知事】	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	<p>県内には、現在、国指定を含めて203の神楽があり、その多くは、後継者不足などの悩みを抱えながら活動を続けておられます。私も現地の神楽を訪れ、ふるまいをいただきながら夜通し鑑賞したこともあります。先日は、椎葉の榎尾神楽に行ったところですが、あの雰囲気が本当に大好きです。あそこで舞われている舞だけではなく、焼酎やふるまいを楽しみながら、そして会話を楽しみながら、先日の榎尾神楽ではその舞と舞の間に、そばに座って見てた高齢の女性がせり歌を歌い始められて、「切れた、切れた、太鼓の音が切れた」と次の演目を楽しみにしているよというかけ声だと思います。疲れたときには、頑張れ頑張れというような歌だとか、夜が更けた頃には男女の色恋のものがあったりですね、本当にトータルでその神楽というものを楽しみにしておられる、地域にとって大切な神事であり、お祭りであり、行事であり、地域や世代を超えた本当に大切な交流の場であり、この宮崎の宝というものを決して絶やしてはならない、確実に未来へとつないでいかなくてはならない、そのような思いを強くしているところであります。</p> <p>現在、本県が中心となりまして、国指定神楽のユネスコ登録に向けて取り組んでおります。登録の先に目指すのは、そのことにより刺激を受けて、また励みとして、県内全ての神楽を次世代へ確実につないでいくことであります。そのためには、神楽保存団体や自治体が情報共有を図り、互いに連携していくことが必要であると考えておりまして、現在、県内神楽保存団体の組織化に向けた取組を進めているところであります。</p> <p>県としましては、この組織が、ユネスコ登録を機に将来にわたって、県内全ての神楽保存団体に有益なものとなって、神楽を核とした地域の活性化につながる活動ができるよう、登録後も引き続き支援に取り組んでまいります。</p>	文化財課	★

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課	
5	神楽	神楽等の民俗芸能について、コロナ禍における中止や規模縮小等の状況を県としてどう捉え、今後どのように支援していくのか伺いたい。【知事】	佐藤 雅洋	自由民主党	R5	11	<p>お答えします。まず、神楽の状況と県の支援についてであります。</p> <p>コロナ禍の影響が残る昨年度は、県内203の神楽のうち、半数以上が規模縮小や中止となったと聞いております。今年は4年ぶりに神楽が再開し、各地のにぎわいが伝わってきております。先日訪れました椎葉村の樽尾神楽でも、地域の皆様のまた神楽をできるという喜びが伝わってまいりました。一方で、しばらくの間、プランクが生じたことによりまして、舞でありますとか様々な手順を思い出すのに時間が掛かるという声や、人手が足りないことから、本来の夜神楽が昼神楽へ変更になったという事例もあり、神楽の振興・継承に向けた課題として、重く受け止めております。</p> <p>そのような中、地区外のボランティアが準備に参加をしたり、女性の舞手が登場したり、さらには途絶えていた鶴戸神楽が60年ぶりに復活したりするなど、保存団体や地域の新しい取組が行われ、光の射す思いもしているところであります。</p> <p>現在、本県が中心となり、全国に呼びかけ、神楽のユネスコ登録に取り組んでおります。私たちの宝である神楽というものを世界の宝にしていこうということを目指しているものでありまして、これは、県内全ての神楽を次世代へ確実につないでいくことを目指すものであり、ひいては、神楽を核とした地域の活性化を目指すものであります。県としましては、この実現のために、まずは足元の保存団体や自治体にしっかりと寄り添い、将来にわたって支援をしてまいります。</p>	文化財課	★
6	学校給食・食育	物価高騰の中、学校給食費における保護者負担の状況について伺いたい。	松本 哲也	県民連合立憲	R5	11	<p>県教育委員会におきましては、市町村担当者を開催し、国の臨時交付金に関する給食費の補助につきまして的確な情報提供を行い、保護者負担軽減が効果的に行われるよう支援しているところであります。</p> <p>また、物価高騰の中、学校では、献立作成や調理方法の工夫により、児童・生徒の成長に、必要な栄養量を満たした給食の提供を行っております。</p> <p>そのような中、今年度は、物価高騰のおり、26市町村中、24の市町村で、保護者負担軽減のための給食費の補助を行っております。</p>	スポーツ振興課	
7	学校施設・整備	県内の公立学校の体育館におけるエアコンの設置率について、全国と比較して、どのような状況か伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R5	11	<p>県内の公立小中・高等学校における体育館等のエアコンの設置率につきましては、文部科学省の調査では、令和4年9月現在、約3%であります。</p> <p>なお、全国では約11%となっております。</p>	財務福利課	
8	学校施設・整備	学校施設環境改善交付金の補助率が引き上げられたが、県としても、例えばエアコンや断熱材部分への補助など、市町村の実施する工事に対して支援できないのか伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R5	11	<p>公立学校の体育館にエアコン設置などの環境を整備することは、児童生徒等の熱中症対策や災害時の避難所となる可能性もあることから、重要であると認識しております。</p> <p>しかしながら、体育館は大空間であることから、エアコン設置や断熱化などの整備には、多大な費用を要することとなります。</p> <p>このような中、議員の御指摘にもありまして、今年度から国の交付金の補助率が引き上げられ、建物の断熱化に関しましても補助対象となり、このことは担当者会議でも周知をいたしました。</p> <p>県教育委員会といたしましては、市町村の工事に対する支援について、他県の事例を参考にしながら、どのような対応ができるのか研究するとともに、随時、情報を提供してまいります。</p>	財務福利課	
9	キャリア教育／職業教育／進路指導	学校で行われているキャリア教育の取組について伺いたい。	福田 新一	自由民主党	R5	11	<p>県教育委員会では、平成25年に作成した宮崎県キャリア教育ガイドラインを令和4年に改定し、小学校から高校までの12年間を見通したキャリア教育の推進を行っております。</p> <p>例えば、小学校段階から当番活動や異学年交流などに取り組むことによりまして、他者のよさを認めたり、集団の中で役に立つ喜びを感じたりすることで、社会の一員としての自覚と責任を理解できるようにしております。</p> <p>また、中学校や高校におきましては、地域や企業等と連携した職場体験などを通して、働く魅力や社会の一員としての役割を子供たちに実感させるなどの取組を行っております。</p> <p>今後も、小・中・高での学びをしっかりとつなぎ、キャリア教育の一層の充実に取り組んでまいります。</p>	義務教育課	
10	教育理念・抱負	これからの子供たちには、どのような資質・能力が求められているのか伺いたい。	福田 新一	自由民主党	R5	11	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による影響や国際情勢の不安定化など、社会の変化が加速度を増し、未来を生きる子供たちには、これまで以上に様々な変化を乗り越え、新たな未来の創り手として、豊かな人生を切り拓くことが求められております。</p> <p>そのために必要な資質・能力として、様々な課題を自分事として捉え、多様な他者との対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、答えを生み出し、表現する力などがまずは大切であると考えております。</p> <p>一方で、自己肯定感や相手を思いやる心、コミュニケーションを通じて人間関係を築く力などは、どのような時代であっても変わらぬ重要な資質・能力であると考えております。</p>	義務教育課	

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
11	教育理念・抱負	その資質・能力を身に付けさせるために、県教育委員会では、どのような取組を行っているか伺いたい。	福田 新一	自由民主党	R5	11	子供たちに必要な資質・能力を身に付けさせるためには、「学びに向かう力」を育成することが重要であると考えております。そのためには、子供一人一人が問いをもつこと、仲間と学び合うこと、深く考えることが大切であります。県教育委員会としては、このような学びを通して、目指す子供の姿を、「ひなたの学び」と整理し、この「学びに向かう力」の育成を意識した取組を行っているところであります。今後も、関係部局や市町村教育委員会と連携し、学校と家庭、地域が一体となって、幼稚園から高校、特別支援学校に至るまでの全ての学びの場においてこの「ひなたの学び」を推進してまいります。	義務教育課
12	教員採用	教員採用試験における、大学新規学卒者の受験者数と質を確保するためにどのような取組をしているのか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R5	11	これまで県教育委員会では、宮崎大学と連携した県教員希望枠の設置や、教員としての実践力を身につける「ひなた教師塾」の開設、全国9会場に拡大した説明会の実施など、新規学卒者の人材確保のため、様々な取組を重ねてまいりました。また、令和3年度採用から、受験倍率の低い小学校などの一部受験区分では、県内外の大学が推薦する学生につきまして は一次試験を免除する大学推薦制度を設けております。殊に、この制度で合格した者は、採用後、高い水準で教育活動を行っている状況が見られることから、質の確保につながっているとも考えており、県外大学に進学した本県出身者の獲得にも効果があったと分析しております。大学3年生の受験前倒しにつきましては、他県の状況等を注視しながら、今後も、県内外の大学との連携を強化し、新規学卒者の受験者数と質の確保に向けてしっかり取り組んでまいります。	教職員課
13	高等特別支援学校	高等特別支援学校設置の意義と目標、また、設置にあたっての県内企業等との連携について伺いたい。	西村 賢	自由民主党	R5	11	高等特別支援学校設置の意義は、就労を希望する知的障がいのある生徒に対し、障がいの程度に応じた専門的な職業教育を実施できるところにあります。その目標といたしましては、経済的に自立し、共生社会の一員として活躍できる人材を育成することであり、地域就労の促進も後押ししながら卒業生の就職率100%を目指しております。また、就労に向けた実践的な力を身に付けるために高等学校や企業等での実習を行うこととしており、そのためには、県内企業等との連携が重要であると考えております。教育委員会といたしましては、障がいのある生徒への理解を深め、就労促進を図るために、県の関係部局や関係機関と協働しながら、県内企業等とも連携してまいります。	特別支援教育課
14	国際教育	海外の大学に進学を希望する生徒に対して、学校ではこれまでどのように指導してきたのか、また、今後、県としてどのように対応していくのか伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R5	11	県教育委員会では、県立高校に留学支援担当者を置き、担当者会を通じて留学情報をこれまで共有・発信してきております。また、各学校では、海外の大学に進学を希望する生徒に対しましては、その留学支援担当者等を中心に手続きを進めております。さらに、業者による留学関連の研修にも参加をし、それらを通して、海外の高等教育機関との連携協定を結び、支援体制を整えている学校もございます。今後は、今年度より取り組んでおります海外留学支援事業によって留学への機運が高まり、海外の大学に進学を希望する生徒が増えることも想定しております。そのため、広く県内外の学校から好事例を収集・共有するとともに相談体制や研修の充実を図ってまいります。	高校教育課
15	疾病対策	学校における子宮頸がんワクチン接種の周知・理解促進の取組について伺いたい。	黒岩 保雄	緑風会	R5	11	子宮頸がんワクチンの接種につきましては、子宮頸がん予防の重要性、接種の効果や副反応等を正しく理解した上で、本人や保護者の判断により、接種を検討していただくことが重要であります。県教育委員会におきましては、これまで、医療機関等と連携を図りながら研修の案内や啓発、接種後の症状に関する相談窓口等も含めた必要な情報の提供等を行ってきたところであります。今後は、これまでの取組に加え、子宮頸がんワクチン接種の重要性等について、管理職や保健主事、保健体育担当教員の研修等をおとして、さらなる周知と理解の促進に取り組んでまいります。	スポーツ振興課
16	社会教育	令和4年度に出された県社会教育委員会議の提言を受け、今後の取組について伺いたい。	松本 哲也	県民連合立憲	R5	11	県では、今後の社会教育の在り方等につきまして、4年の審議を経て、有識者の皆様から御提言をいただきました。この提言は、今、議員からも御案内のありましたように、本年度策定した「宮崎県教育振興基本計画」にそのまま反映をさせていただいておりまして、具体化に向け、現在、取り組んでおります。例えば、「地域ぐるみでつながる」という提言のもと、アドバイザーを派遣し、地域と学校の連携・協働を支える体制を整えております。同時に、県民参加の研修会を開催し、事例発表や協議を通して、当事者意識を育成する取組を行っております。これらは、地域の皆様の生きがいづくりにもつながるものと考えております。今後とも、提言を生かした、一層の社会教育の充実に、市町村とともに取り組んでまいります。	生涯学習課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課
17	人権教育 ／L G B T	性的マイノリティの児童生徒が学校で安心して相談できるための取組について伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R5 11	<p>県教育委員会におきましては、不安や悩みを抱えた児童生徒が、一人で悩まず、相談できる力を身に付けられる「SOSの出し方に関する教育」を推進しておりまして、性的マイノリティの児童生徒も、安心して相談できるよう取り組んでおります。</p> <p>また、管理職を対象とした人権教育に関する研修におきまして、個別の事情に応じて丁寧に対応することや本人の意志に反して第三者に伝えないこと今アウトティングとおっしゃられたところなどをごままとした研修資料を用い、教職員が適切に対応できるよう周知しております。</p> <p>現在、当事者の方々からも御意見を伺いながら、性的マイノリティの児童生徒へ適切に寄り添えるよう教職員向け対応マニュアル等の作成を進めておりまして、引き続き、児童生徒が安心して相談できる体制づくりに取り組んでまいります。</p>	人権同和教育課
18	スポーツ振興	本県スポーツの全体的な底上げについての取組と今後のスポーツ環境の維持向上をどう考えているのか、この知事の思いをどう受け止める、その実現に取り組んでいるのか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R5 11	<p>4年後に開催予定の国民スポーツ大会につきましてはこれまで教育委員会といたしましても知事の思いをしっかりと受け止め各施策に取り組んでまいりました。</p> <p>そのような中、本県スポーツの全体的な底上げといたしましては、各団体のジュニア層等に対して、幅広い支援を行っておりまして、特にワールドアスリート発掘育成事業による成果が現在の競技力向上につながってきております。</p> <p>更に、レスリングや自転車競技等に代表される競技者の少ない、いわゆる、ひむかサンライズ競技に支援を行うなど競技人口の拡大にも取り組んでおります。</p> <p>4年後の大会開催に向けましても、各競技団体が行っている一貫した指導体制の構築や現在整備を進めております部活動支援施設等の機能を生かし、大会終了後には、それぞれの競技が各地域や自治体のシンボルスポーツとなり、生涯スポーツの普及や県民の健康増進にも繋がるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p>	スポーツ振興課
19	全国枠・ 国内留学	高千穂高校の魅力づくりの一環として、全国からの募集を行うことが有効であると考えているが、その効果と今後の取組について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R5 11	<p>現在、県立高校におきまして全国からの募集を行っている学校は議員のご指摘にもありましたように、飯野高校と高鍋農業高校の2校で、入学者数は延べ31名であります。</p> <p>この生徒たちは宮崎の豊かな自然や温かな県民性に触れ、充実した学生生活を送っております。また、地元の生徒たちも県外から入学した生徒の好奇心旺盛な姿や多様な価値観から刺激を受けておりまして、ともに地域の行事を企画し、参加するなど地域活性化にも好影響を与えております。</p> <p>このような成果もありますことから県教育委員会といたしましては、高千穂高校につきましても、地元自治体のニーズを把握しながらともに研究し、学校の魅力づくりにより一層取り組んでまいります。</p>	高校教育課
20	定時制・通信制 ／夜間中学	「ふるさと育成協議会」のような定時制・通信制高校の進学支援の取組を広めていくべきかと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R5 11	<p>いま、議員から御紹介のありました「ふるさと育成協議会」の取組につきましては、定時制・通信制高校で働きながら学ぶ生徒にとって大変心強い御支援であると考えております。</p> <p>県内では他にも定時制・通信制教育振興のために各地で自治体や企業から様々な御支援をいただいております。</p> <p>県といたしましても、この度の御紹介を受けまして各地域の取組を定時制・通信制高校の管理職で構成する定時制通信制教育協議会におきまして改めて共有させていただきます。</p> <p>今後、支援の充実に努めてまいります。</p>	高校教育課
21	定時制・通信制 ／夜間中学	宮崎市の夜間中学の開校に向けて、現在の募集状況と県としてどのような支援に取り組むのか伺いたい。	重松 幸次郎	公明党	R5 11	<p>宮崎市が令和6年4月に開校を予定している県内初の夜間中学「宮崎市立ひなた中学校」は、県内に在住する学齢期を過ぎた方で、中学校を卒業していない、又は、不登校などで十分に学べなかった方を対象に本年9月29日まで募集が行われたところであります。</p> <p>宮崎市によりますと、今月12月には、入学者の決定を予定しており現在、その準備を進めていると伺っております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、令和4年度より宮崎市の夜間中学設置準備室へ指導主事を派遣しておりまして、開校に向けて本年度さらに1名増員したところであります。</p> <p>今後、開校後の円滑な運営に向けて教育課程の編成や教職員の配置等について、適切な支援を行ってまいります。</p>	義務教育課
22	読書・図書	本県の読書活動推進の取組と、子どもの読書習慣を身に付けさせるための取組状況について伺いたい。	西村 賢	自由民主党	R5 11	<p>読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、人生を豊かにするものであります。</p> <p>特に、子どもたちの読書習慣の形成は、大切であると認識しております。</p> <p>このことから県では、これまでおすすめブックリストの作成や、関心を高めるイベントの開催、県立図書館が市町村立図書館や学校へ本を貸し出すなど、読書環境整備に努めてまいりました。</p> <p>また、学校におきましても、学校司書を中心に学校図書館を整備したり、各教科等で図書を積極的に活用するなど、読書の習慣化に取り組んでおります。</p> <p>今後、学校や市町村立図書館とも改善すべき課題の共有を図り、より一層の連携をとって、子どもたちの読書習慣の形成を図る取組をしっかりと推進してまいります。</p>	生涯学習課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
23	読書・図書	市町村ごとの公立図書館の貸出の傾向はどうなっているか、また、全国最下位レベルから脱するための公立図書館の利用促進に向けた取組について伺いたい。	西村 賢	自由民主党	R5	11	<p>本県実施の調査によりますと、市町村立図書館の住民1人当たりの貸出冊数は、全国平均に比べて低い傾向にあります。館のリニューアルや新たな取組により、貸出冊数が伸びている市町村もございます。</p> <p>具体的には、市町村の各図書館は、地場産品と連携したイベントの実施や移動図書館車の導入、電子図書サービスの提供など、実情に応じて、誰もが利用しやすい図書館を目指し取り組まれておられます。</p> <p>県教育委員会といたしましても、新たにみやざき読書アンバサダーを任命し、全県的な啓発に取り組んでおります。</p> <p>今後とも成果の上昇が期待される取組を会議等で情報共有し、市町村と共に、県民が身近に感じる図書館づくりに取り組んでまいります。</p>	生涯学習課
24	読書・図書	県立図書館の収蔵スペース確保について、現在の検討状況と今後の方向性を伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	<p>県立図書館の収蔵スペース確保につきましては、現在、関係部局の意見をいただきながら、県立図書館内のプロジェクト会議を中心に、既存施設の活用や蔵書の整理など、今できる具体的な方策について、検討を行っております。</p> <p>また、県内図書館の収蔵スペースの状況につきまして、新たに調査を行うとともに、長期的な視点から、有識者等からのご意見をいただき、市町村と図書資料の収集、保存、整理について協議してまいります。</p> <p>今後、安定的な収蔵スペースの確保に向け、調査結果を生かした保存の在り方、新たな技術である電子書籍の導入等について検討を行い、全県的な図書館の役割分担を再構築し、宮崎ならではの、新しい図書館のネットワークづくりを目指してまいります。</p>	生涯学習課
25	入試	令和6年度県立高校入試における、生理などの体調不良者に対する追検査等の対応について伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R5	11	<p>本県の県立高校入試では学力検査当日に、受験者が生理痛などで体調不良の場合には別室での受験を認めたり、面接の際はその順番を繰り上げて早めに検査を終わらせるなどの配慮を行っております。また、当日やむを得ない事情で受験のできない場合には当該高等学校長が検査に代えて受験者の不利益にならないよう適切な対応も行っておるところでございます。</p> <p>令和6年度の県立高校入試では、追検査は実施いたしません。入試当日の受験者の体調に関しましては十分な配慮を行い、一人ひとりが中学3年間の学習成果を揮うことができるよう適切に対応してまいります。</p>	高校教育課
26	入試	全国の公立高校入試における追検査の実施状況を伺いたい。また、本県でも追検査を実施できないのか伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R5	11	<p>昨年度は新型コロナウイルス感染症に対応した追検査が47都道府県中、本県を含む43都道府県で実施されております。新型コロナウイルス感染症以外の要因による全国の追検査の実施状況につきましては、把握しておりませんが、本県では実施しておりません。</p> <p>今年度、本県の県立高校入試では追検査は実施いたしません。推薦入学者選抜、一般入学者選抜、二次募集選抜を実施するなど、複数回の受験ができるよう受検機会を確保するための措置を行っております。</p> <p>追検査の導入につきましては、今後、国や他県の状況等を踏まえながら公平性の確保や中学校への影響などを考慮しさらに研究してまいります。</p>	高校教育課
27	博物館	県総合博物館の施設の現状とリニューアルの予定について伺いたい。	脇谷 のりこ	親和会	R5	11	<p>県総合博物館は、郷土に根ざした文化の向上に貢献し、主に本県の、自然、歴史、民俗の貴重な資料を収集・保存するとともに、学術的な調査研究を行い、その成果を県民の皆様へ還元しております。</p> <p>これまで、魅力ある開かれた博物館となるよう工夫を重ね、昨年度は20万人の方に来館いただいたところであります。</p> <p>一方で、昨日からの報道で御心配をおかけしておりますが、昭和46年3月の開館から、50年が経過してございまして、空調設備の更新や防水工事などの老朽化対策を施し、長寿命化を図りながら運営を行っております。</p> <p>現時点でリニューアルの計画はございませんが、今後も広く魅力を発信しながら、将来に向けた博物館の在り方につきまして研究してまいります。</p>	文化財課
28	博物館	県総合博物館のリニューアルに係るクラウドファンディングの導入の可能性について伺いたい。	脇谷 のりこ	親和会	R5	11	<p>独立行政法人国立科学博物館が行ったクラウドファンディングの報道により、私もクラウドファンディングが資金調達の有効な手段の一つであると改めて認識をしたところであります。</p> <p>リニューアルに係るクラウドファンディングの導入につきましては、その成果や課題などを含めまして、他県の状況等も踏まえながら、今後、関係部署と連携し、研究してまいります。</p>	文化財課
29	病弱児支援	1型糖尿病にかかる教職員向けの研修充実の要請について、どのように考えているか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	<p>1型糖尿病を含めた児童・生徒が抱える病気につきまして、教職員が理解を深め、丁寧に対応することは、大変重要なことであると認識しております。</p> <p>教職員に向けた研修は、様々な内容で行っておりますが、これまでも新規採用者に対する保健教育や保健管理の研修の中で、1型糖尿病の生徒の課題把握や支援等について、事例の一つとして、取り上げてきております。</p> <p>今回の要請を受けまして、教職員の適切な対応につなげるためあらためて、研修における具体的な事例の伝え方を研究するよい機会になったと考えております。</p>	スポーツ振興課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
30	病弱児支援	公立小・中学校における全ての医療的な支援が必要な児童生徒が、安心して学校生活を送れるよう、県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	公立小・中学校における医療的な支援が必要な児童生徒への対応につきましては、職員会議等において、子供の病気や病状、対応の仕方等を正しく理解するとともに、指導上の配慮事項や緊急時の連絡体制を確認するなど、全職員で対応する体制を整えております。 また、子供や保護者の心のケア、進学先への引継ぎ等につきましては、病院等の関係機関や市町村教育委員会と十分に連携し、可能な限り、子供や保護者に寄り添った対応に努めております。 県教育委員会といたしましては、様々な病状を抱える子供が、どの学校においても安心して学校生活を送れるよう、学校や市町村教育委員会に対する情報提供や研修の充実に取り組んでまいります。 部活動の土日の地域移行に向けましては、本年度、4つの市町でモデル事業に取り組んでおります。また、県といたしましては、9月に、国のガイドラインに基づき県の方針を策定し、10月に、各市町村の関係者を対象にコーディネーターの配置や取組等に関する研修会を開催したところであります。 今後につきましては、1月末に部活動の地域移行に関するシンポジウムを開催し、県民の皆様への理解と周知を図り、各市町村での協議会の実施やコーディネーター配置を推進してまいります。 課題としましては、地域のクラブを運営していくための団体や指導者の確保、教員のかかわり方や経費負担の在り方などがあると認識しておりまして、今後とも国の動向を注視しながら部活動の地域移行に向けた必要な取組を進めてまいります。	義務教育課
31	部活動	公立中学校における部活動の地域移行に向けた取組状況と課題について伺いたい。	川添 博	自由民主党	R5	11	本県公立学校の不登校児童生徒数は、小・中・高等学校とも全国平均を下回ってはおりますが、小学校での増加が全国と同様に顕著となっております。 その理由は、無気力や不安など様々ですが、国の分析にもある、コロナ禍で、子ども達の生活のリズムが乱れやすい状況が続いたことも背景と考えております。 不登校児童生徒の置かれている環境は様々でありますことから、各学校では個に応じた支援や居場所づくり、関係機関との連携など、学校復帰に向けた取組を粘り強く進めております。 県教育委員会といたしましても、スクールカウンセラー等の専門スタッフ配置を小学校段階からも強化したり、県全体の教育支援センターの在り方を協議するなど国の動きも見ながら、現在研究を進めております。	スポーツ振興課
32	不登校	不登校児童生徒の増加について本県の特徴と要因及び今後の対策について伺いたい。	丸山 裕次郎	自由民主党	R5	11	学校は、多くの人たちとの関わりの中で学びや育ちをしっかりとサポートし様々な経験を通して、実社会に出て役立つ生きる力を養う貴重な場です。 そのような中、不登校児童生徒の増加は、コロナ禍を経てさらに大きな課題となっております。私も非常に重く受け止めております。 県教育委員会では、加配教員や専門スタッフの配置などの市町村だけでは取り組むことが難しい支援体制の整備を進めておりまして、先日も、私自身文部科学省を訪問し、地方における不登校の現状と今後の対策について直接、国と協議をし、要望をしてきたところであります。 今後とも不登校児童生徒の自立を大きな社会的課題と捉え、市町村教育委員会に対する積極的な支援に取り組んでまいります。	人権同和教育課
33	不登校	不登校児童生徒への支援に対する県教育委員会の考え方を伺いたい。	西村 賢	自由民主党	R5	11	家庭等に出向き支援にあたる「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーは、現在、県内に21名が配置され、人数は、順次拡充しております。 議員御指摘のとおり、増員と同時に質の高い人材の確保は喫緊の課題であり、社会福祉士会、精神保健福祉士会などの関係機関や、大学、専門学校などの養成機関に、協力依頼を行っております。 また、県内各地でのスクールソーシャルワーカーの仕事に関する説明会も実施し、地域の人材も確保をすることとしております。 今後も家庭への支援や関係機関とのネットワークの構築など児童生徒や保護者に対する支援の充実に取り組んでまいります。	人権同和教育課
34	不登校	スクールソーシャルワーカーの配置の考え方について伺いたい。	西村 賢	自由民主党	R5	11	不登校児童生徒がフリースクール等を活用した場合、国の示す要件を満たすことで、出席扱いとできるようになっております。具体的には、保護者と学校との間に十分な連携体制が保たれていることや、学習内容が適切であることなどについて、校長が、設置者である教育委員会と十分な連携を取り、総合的に判断することとなっております。 県教育委員会といたしましては、本年10月に、これらの要件について、フリースクール及び市町村の関係者を含めた連絡協議会の中で説明したところであります。 今後とも、市町村教育委員会と連携しながら、各学校で一人一人の児童生徒の社会的自立に向けた、適切な対応がなされるよう取り組んでまいります。	人権同和教育課
35	不登校	義務教育段階におけるフリースクールの出席扱いについて伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R5	11	小規模特認校のために、スクールバスを活用している自治体もあるが、県が支援することはできないか伺いたい。	義務教育課
36	不登校	小規模特認校のために、スクールバスを活用している自治体もあるが、県が支援することはできないか伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R5	11	小規模特認校制度は、各市町村が、特定の小規模校を特認校として指定し、少人数での教育のよさを生かした、きめ細かな指導や特色ある教育を行うもので、当該市町村内のどこからでも就学が可能となっております。 県内では、この制度を利用して、10の自治体が特認校を指定し、そのうち、3つの市町がスクールバスを運行しております。 このように、実施主体が市町村であり、地域の実情に応じた対応が現在なされているところであります。	義務教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
37	不登校	県として学びの多様化学校の設置を行う考えはないか伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R5	11	今年8月に「不登校特例校」の新たな名称について文部科学省より通知があり、実際に当該学校に通う子どもたちの目線に立った観点から、「学びの多様化学校」もしくは、設置者等において工夫した名称とするなど適切に対応するよう示されております。現在、県教育委員会といたしましては、設置の検討は行っておりませんが、誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策の一つとして、子どもの実態に応じた教育課程を編成できる「学びの多様化学校」の設置は、大変重要であると考えております。今後、設置を検討している現在の複数の市町と意見交換を行いながら、必要な支援を行ってまいります。	人権同和教育課
38	不登校	不登校の定義について伺いたい。	福田 新一	自由民主党	R5	11	毎年文部科学省が不登校児童生徒の調査を実施いたしますが、その中には不登校児童生徒を「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しております。定義では少し分かりにくいかと存じますが、各学校では、これらを踏まえて病気以外の理由による欠席が続く場合には不登校の可能性を念頭に置き、丁寧に当該児童生徒及び保護者への対応を行っております。	人権同和教育課
39	不登校	公立小中学校の不登校の現状について伺いたい。	福田 新一	自由民主党	R5	11	本年10月公表の文部科学省の調査結果によりますと本県公立小中学校の令和4年度の不登校児童生徒数は小学校が766人、中学校が1,571人となっておりますがいずれも、令和3年度と比較して増加しております。また、本県の1,000人当たりの不登校児童生徒数は小学校が13.2人、中学校が55.6人でありいずれも全国平均を下回るものの全国と同様に、小学校での増加が顕著であることなどの傾向が見られ重く受け止めているところであります。	人権同和教育課
40	不登校	フリースクール等との連携に関する今後の県の取組について伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	不登校対策には、誰もが安心して学ぶことができる魅力ある学校づくりを進めると同時に、児童生徒の状況によっては、フリースクール等とも連携し、多様な学びの場や居場所を確保していくことも大変重要であると認識しております。県教育委員会では、昨年度から県内フリースクール等への視察や意見交換を行い、本年10月には、市町村の関係者も含めた連絡協議会を開き、その中で今後の連携の在り方を協議したり、国の出席扱いの要件等を示したところであります。今後、情報を整理し、県と市町村との役割を明確にするなど、フリースクール等との円滑な連携に取り組んでまいります。	人権同和教育課
41	不登校	フリースクールの出席扱いについて、市町村で対応に大きな差が生じないよう県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	フリースクールを利用している子供の出席扱いにつきましては、国の示す要件を基に、市町村教育委員会と当該校の校長が協議し、一人一人の子供の実情に応じて校長が判断することとなっております。県教育委員会といたしましては、市町村の担当者を対象とした研修会におきまして、出席の取り扱いについて周知し市町村のそれぞれの事例について情報共有を行っております。今後も、適切な対応が行われるよう市町村教育委員会と連携してまいります。	義務教育課
42	不登校	フリースクール等への補助を県教育委員会として行う考えはないか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	11	他県の例を見ますと、公教育に準ずる教育活動を行う機関として適切であるか、政治的・宗教的中立性があるかなどの要件を設けて、フリースクール等の審査を行っております。一方、補助には、行政による指導・監督を受ける必要もあります。県教育委員会といたしましては、今後も国の動向を注視しながら、フリースクール等にどのような支援ができるのか、他県への情報収集も含め、研究してまいります。	人権同和教育課
43	不登校	本県の小・中・高等学校における不登校児童生徒の現状について伺いたい。	前屋敷 恵美	日本共産党	R5	11	本年10月公表の文部科学省の調査結果によりますと本県公立小・中・高等学校の令和4年度の不登校児童生徒数は小学校が766人、中学校が1,571人高等学校が331人となっております。令和3年度と比較しますといずれの校種におきましても増加をしております。増加の数は、小学校が206人、中学校が287人、高等学校が32人となっております。	人権同和教育課
44	不登校	現在、県内には何箇所のフリースクールがあるのか伺いたい。	前屋敷 恵美	日本共産党	R5	11	県教育委員会では、市町村教育委員会から本年10月の時点で、県内8市町に23のフリースクールがあると報告を受けております。	人権同和教育課
45	不登校	フリースクール等との連携の状況、及び補助についての県教育委員会の考えを伺いたい。	前屋敷 恵美	日本共産党	R5	11	フリースクール等との連携につきましては昨年度から意見交換の場を設けておりまして本年10月には、市町村の関係者も含めて連携の在り方を協議したり国の通知にある出席の要件を示したりしたところであります。補助に当たりましては、フリースクールの審査や行政による指導・監督の必要もあり県教育委員会といたしましては今後も国の動向を注視しながら他県の情報を集めるなどしてどのような支援ができるのか研究してまいります。	人権同和教育課
46	不登校	延岡市のオンライン学習支援の取組について、教育長の所感を伺いたい。	松本 哲也	県民連合立憲	R5	11	不登校の児童生徒の社会的自立を支援する上で、ICTを活用したオンラインによる学習支援は、大変有効な手段の一つであると考えております。延岡市の取組は、配信拠点校にいる支援員と自宅の児童生徒をオンラインでつなぎ、支援員のサポートを受けながら、ウェブドリル等の学習コンテンツを個人のペースで進めることができると聞いておりました。県内で初めての取組として注視しております。県教育委員会といたしましてこの延岡市の先進的な取組について、先日市町村の担当者会を開き、その成果を共有したところであります。私もこの取組が児童生徒の次につながる一歩となることを期待しております。	人権同和教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
47	不登校	公立小・中学校における不登校児童生徒の学びの場の確保に対する市町村の取組と県の支援について伺いたい。	松本 哲也	県民連合立憲	R5 11	<p>これまで本県の公立小中学校における不登校児童生徒に対しては、各市町村の実態に応じた支援がなされておりました。しかしながら、コロナ禍を経て、顕在化した課題に対応するため、各学校では、学びの場の確保のために、空き教室を利用して校内教育支援センターを整備したり、ICTを活用したオンラインによる学習を行うなど、新たな取組が始まったところであります。他にも、一部の市町におきましては、フリースクールとの連携も進んでまいりました。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今後とも、市町村教育委員会において児童生徒の学びの場の確保がなされるよう国の動きを注視しながら、支援のあり方について研究を進めてまいります。</p>	人権同和教育課	
48	不登校	中学校における不登校生徒のオンライン学習において、出席扱いとなるための要件について、また、出席扱いとならなかった場合、高校入試の際に不利益とならないのか伺いたい。	今村 光雄	公明党	R5 11	<p>不登校生徒が自宅で行うオンライン学習につきましては、学校等が提供する学習に取り組む場合と、生徒や家庭が独自に、配信動画や学習ドリル等で取り組む場合があります。</p> <p>どちらの場合も、出席扱いとすることは可能でありまして、基本的にフリースクール等と同様、学校と保護者との間に十分な協力関係が保たれていることや、当該生徒への学習支援や相談支援が適切に行われていることなどを踏まえ、校長が、子ども一人一人の実情に応じて総合的に判断することとなっております。</p> <p>なお、出席扱いにならないことが、高校入試において、不利益となることはございません。</p>	義務教育課	
49	不登校	自分のクラスに入りづらい児童生徒の学校内の居場所を確保することは、不登校対策において必要と考えるが、県内の小中学校の空き教室の利用状況と学校での取組について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R5 11	<p>県内公立小中学校の空き教室利用につきましては、少人数学習や生徒会活動など、様々な利用が現在なされているところであります。そのような中、令和5年9月に県が市町村に聞き取ったところによりますと、163校で不登校児童生徒の支援に活用されております。</p> <p>その支援としましては、教職員が交代で学習支援を行ったり、一人一台端末を用いた学習や、教室からの授業を配信するなど、学習の場や居場所づくりとなる取り組みを進めております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今後も各学校におきまして、不登校児童生徒一人一人の状況に応じた取り組みがより充実されるよう、支援員の配置など、国の動向を注視しながら、必要な支援に取り組んでまいります。</p>	人権同和教育課	
50	文化財	国指定重要文化財である「那須家住宅」をどのように保存・継承していくのか、伺いたい。【知事】	安田 厚生	自由民主党	R5 11	<p>コロナが5類に移行して、4年ぶりに開催された椎葉平家まつり、大候にも恵まれて、大変盛り上がったということで、ニュース映像で私も拝見をいたしました。今、御質問がありました鶴富屋敷の愛称で親しまれている「那須家住宅」へと行進する大和絵巻の武者行列、これはこの椎葉ならではの大変豪華で、また歴史文化を感じさせる素晴らしいこの祭りだと感じております。私もそのお祭りが終わった後の日程で、椎葉村へ伺いまして、「知事とのふれあいフォーラム」を開催いたしました。椎葉村のみならず様々な御意見をお伺いし、改めて豊かな自然や歴史文化、農林業など椎葉村の魅力や課題について意見交換を行ったところであります。</p> <p>また、その日は、まさにこの「鶴富屋敷」に泊まって、翌日、榎尾神楽、さらには仙人の棚田、大銀杏などを拝見をし、椎葉の魅力堪能してまいりました。</p> <p>御質問の「那須家住宅」は、昭和31年に、本県で最も早く国の重要文化財に指定された建造物であります。これは、椎葉独特の様式で造られた「椎葉型民家」という唯一無二の民家の代表として評価をされたものであります。</p> <p>文化財を保存・継承していくためには、その活用が大変重要であると考えております。県としましては、椎葉村の魅力を発信するため、「那須家住宅」がさらに活用されるよう、引き続き支援を行い、県民の大切な宝として、後世に伝えていきたいと考えております。以上であります。</p>	文化財課	★
51	文化財	国指定重要文化財である「那須家住宅」の文化財的価値をどう考えているか、伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R5 11	<p>「那須家住宅」の文化財的価値についてであります。</p> <p>「那須家住宅」は、山間部で平地が少ない地形をうまく利用し、部屋を横一列に配置した、全国的に類例のない椎葉独自の造りである「椎葉型民家」の代表であります。建築年代は、江戸時代後期とみられておられて、「椎葉型民家」の中でも規模が大きく、家具や建具などが建築当時のまま残され、今日まで保存・継承されてきた貴重な文化財であります。</p> <p>県内にはこの全国的に見ても価値の高い「那須家住宅」をはじめとして、11の国指定重要文化財の建造物がございますが、これらの文化財を県民共有の財産と捉え、大切に保存・継承していくことが重要だと考えております。</p> <p>今後とも県内における貴重な文化財として所有者や地元自治体と連携し、保存・活用が図られるよう、支援してまいります。以上であります。</p>	文化財課	

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課	
52	文化財	<p>本県ゆかりの国宝や重要文化財について、どのようなものがあり、その重要性をどう捉え、また、県民にどのように周知していくのか伺いたい。</p> <p>【知事】</p>	佐藤 雅洋	自由民主党	R5	11	<p>次に、本県ゆかりの国宝等についてであります。</p> <p>本県ゆかりの国宝には、御指摘のありました東京の五(ご)島(とう)美術館が所蔵する西都市百塚原(ひやくつかばる)古墳群から出土をした金(こん)銅(どう)馬具類があります。この馬具は、細かな龍の透かし彫りを持つなど、古墳時代の馬具として我が国屈指のものとされております。また重要文化財としましては、東京国立博物館が所蔵します西都原古墳群出土の子持家形(こもちいえがた)埴輪のほか、県内におきましては、これも御指摘がありました高千穂神社所蔵の鉄(てつ)造(そう)貊(こま)犬(いぬ)や日之影町と延岡市の河川に架かる旧綱ノ瀬(つなのせ)橋梁及び第(だい)三(さん)五ヶ瀬川橋梁などがあります。</p> <p>これらの国宝等は、我が国においても大変価値の高い国民的財産であるとともに、神楽や古墳と同様に、長い歴史と豊かな風土で育まれた、次世代に継承すべき、本県が誇る貴重な宝であります。</p> <p>本県ゆかりの国宝等の周知については、国文祭・芸文祭の一環として開催をした国宝の里帰り展覧会やデジタルミュージアムでの公開等に取り組んでまいりました。今後も、更にその価値が県民に伝わるよう、活用のあり方を工夫しながら、様々な機会を捉えて周知してまいります。以上であります。</p>	文化財課	★